

## 平成19年度森林環境基金事業の枠組み(実績)

税込11.13億円(見込み)

(個人事業者・給与所得者9.12億円 法人2.01億円)

県・市町村の徴収取扱費0.78億円(税込の7%)

森林環境基金12.76億円(見込み)

(平成19年度繰り入れ10.35億円+平成18年度からの繰り越し2.41億円)

国庫の活用:217,537千円→平成19年度決算額:1,333,251千円

県事業 10.65億円(79.9%)

市町村事業 2.68億円(20.1%)

【単位:千円】

森林環境を保全するための事業		森林づくりの意識を醸成するための事業	
1,015,742 (76.2%)		49,617 (3.7%)	
①森林環境の適正な保全 932,561 (70.0%) ・水源区域の森林整備 平成20年度への繰越し(外数) 165,441 (うち国庫:112,500) ・森林GISの整備による森林情報の高度化、共有化	③県民参画の推進 32,129 (2.4%) ・森林環境学習に必要なフィールドの整備、指導者の養成 ・森林ボランティアの養成、森林ボランティアサポートセンターの運営等	森林環境交付金事業【地域提案重点枠】 188,909 (14.2%) ・市町村独自の優れた提案事業に重点的に取り組む財源 (事業の対象分野) ア 森林整備の推進 イ 県産間伐材の利活用推進 ウ 木質バイオマスの利活用推進 エ その他	森林環境交付金事業【森林環境基本枠】 78,983 (5.9%) ・全ての市町村が継続的に森林づくりに取り組む財源 (事業の対象分野) ア 県民参画の推進 イ 森林の適正管理推進 ウ 森林環境学習の推進
②森林資源の利用促進 83,181 (6.2%) ・間伐材の搬出・運搬支援及び利用促進 (ペレットストーブの導入等)	④森林文化の復興 6,875 (0.5%) ・県内の森林文化を調査し、普及・定着を図る		
	⑤森林環境の調査研究 5,168 (0.4%) ・水環境の変化を調査し、森林整備の効果を実証等		
	⑥森林環境基金の運営 5,445 (0.4%) ・森林環境基金事業に対する県民の理解を深めるための広報、懇談会の開催等		

※( )は決算額に占める割合